

第一回 新潟の料亭に伝わる 書画文芸展

2026年

5月16日(土)

～6月21日(日)

休館日：月曜日

観覧無料(要別途入館料)

北前船交易により新潟湊には富と繁栄がもたらされました。古町、西大畑エリアにはそれを物語る、歴史的な建造物が今に伝えられています。それぞれのエリアで江戸時代から続く行形亭・鍋茶屋二店の料亭が所蔵する書画・文芸作品から、料亭と文人との関係性をご紹介します。

主催：新潟大学岡村浩研究室・旧齋藤家別邸
協力：行形亭・鍋茶屋・新潟三業協同組合

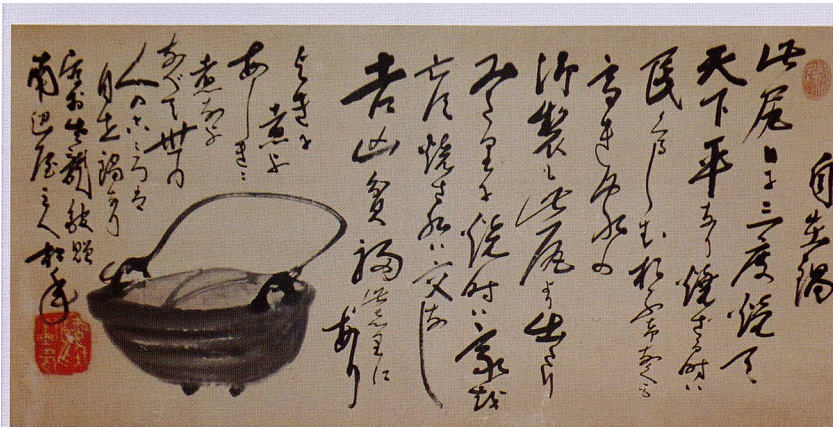
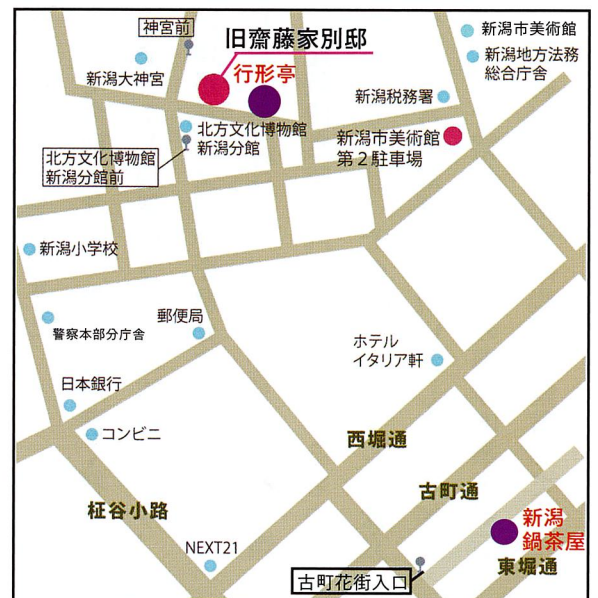
旧齋藤家別邸

〒951-8104 新潟市中央区西大畑町576番地

☎ 025-210-8350

◎ 入館料：個人 一般 300円、小・中学生100円

🌐 <https://saitouke.jp>



自在鍋 扁額(鍋茶屋)



松図 衡立(行形亭)



鍋茶屋 扁額



行形亭看板

【関連企画】

〈1〉トークイベント

2026年5月23日(土) 13:30~15:00

「花街の魅力」元古町芸妓

◇作品解説 新潟大学教授 岡村 鉄琴氏

※申込方法 5/6(水)から電話による申込

TEL: 025-210-8350

・参加費 500円(要別途入館料)

・定員 先着30名

要申込

〈2〉作品解説会

2026年5月31日(日) 13:30~15:00

◇作品解説 新潟大学教授 岡村鉄琴氏

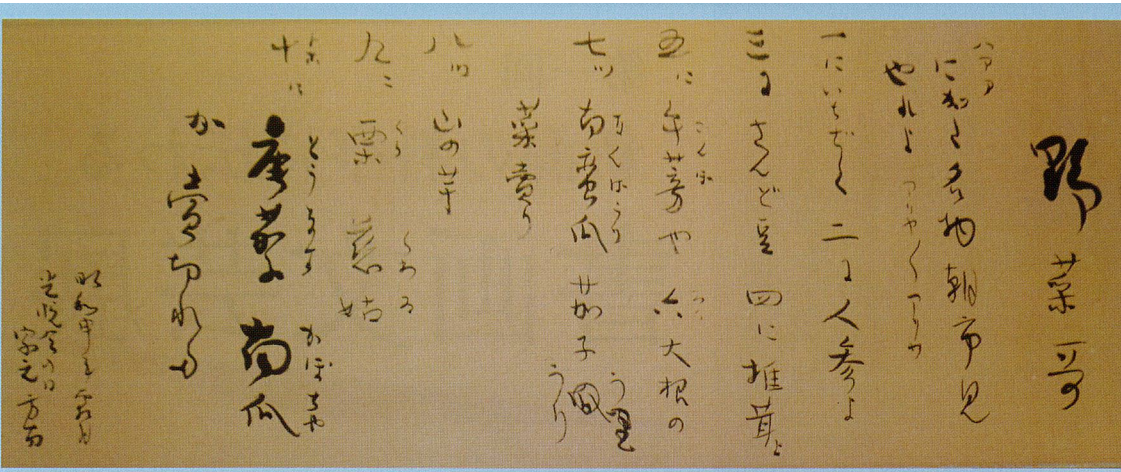
◇新潟大学学生による研究発表

・参加費無料(要別途入館料)

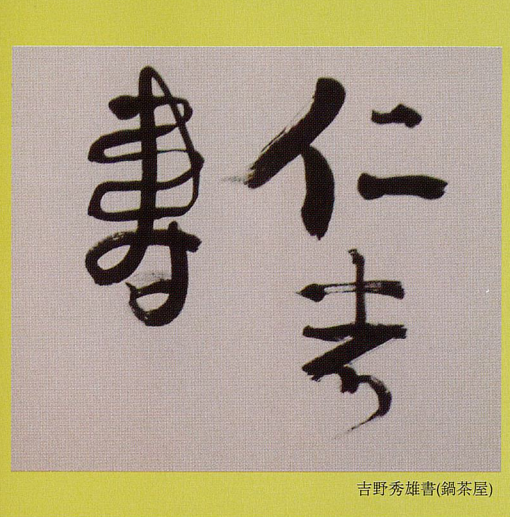
申込不要



江戸文人合作(行形亭)



田山方南「野菜歌」(鍋茶屋)



吉野秀雄書(鍋茶屋)

第一回 新潟の料亭に 伝わる 書画文芸展



寺崎廣業 絵手紙(行形亭)



高橋五仙子 大幕絵(行形亭)



佇まいに見る京の画家作(鍋茶屋)

堀と柳の町並、舟江と称した水運、そして芸妓によって支えられたおもてなし文化は、昔も今も変わらない新潟市の代名詞でしょう。このような情緒の集約は、料亭が軒を連ねる地域に色濃く残っています。

近ごろ、花街の歴史的建物と景観の保存に注目が集まり、文化財をみつめる視点で評価がされつつあります。

このような一般の興味関心が高まる中、店内に伝わる宝物、とくに書画古美術についてはこれまでほとんど語られることがありませんでした。当地新潟には江戸期以来、著名な文芸家・文人が来遊し旅の杖を留めましたが、その証となる文芸作を料亭街に確認できます。思うに、建物・作法・床の間文化を総称してこそ、真の湊町伝統文化が語られると信じます。

そこで今回は北陸一帯に名が響く料亭、行形亭さんと鍋茶屋さんのご協力を賜り、店にゆかりの文芸作を紹介する企画を立てました。内容は、一店舗に保管される書画中心、比較的常時室内に掛かっているものを見てどこるや来歴を説明いたします。加えてパネルで紹介した作家の別作肉筆を展示し、実物が醸し出す臨場感を鑑賞していただきます。